



上下両端とも、後からの加工とみられる切斷・削りがあり、本来の大きさや形状用途は不明だが、約3cm角の角材の四面に墨書がみられる。各面の書き出しが一字ずつ下がつて始まっている。

この木簡については国立歴史民俗博物館の平川南氏のご教示を得た。

(鈴木良孝)

木簡研究 第一六号

巻頭言

一九九三年出土の木簡

吉田 孝

概要 平城宮跡 平城京跡右京二条三坊四坪 薬師寺旧境内 大安寺旧境内 興福寺旧境内 東大寺 阪原阪戸遺跡 藤原宮跡 藤原京跡右京九条四坊 飛鳥京跡 定林寺北方遺跡 金剛寺遺跡 下茶屋遺跡 長岡京跡(1) 長岡京跡(2) 平安京跡左京三条三坊十三町 大坂城跡(1) 大坂城跡(2) 大坂城下町跡 若江遺跡 西ノ辻遺跡 袴狭遺跡(1) 袴狭遺跡(2) 砂入遺跡 祢布ヶ森遺跡 見蔵岡遺跡 木梨・北浦遺跡 藤江別所遺跡 阿形遺跡 伊勢寺遺跡 御殿・二之宮遺跡 東中館跡 長崎遺跡 八幡前・若宮遺跡 大宮遺跡 三堂遺跡 鴨田遺跡 大戌亥遺跡 杉崎廢寺 元総社寺田遺跡 南A遺跡 安子島城跡 山王遺跡 今塚遺跡 弘田柵跡 福井城跡 一乗谷朝倉氏遺跡 戸水大西遺跡 西念・南新保遺跡 八幡林遺跡 宮長竹ヶ鼻遺跡 タテチヨウ遺跡 円城寺前遺跡 古市遺跡 郡山城下町遺跡 周防国府跡 初瀬遺跡 船戸遺跡 ヘボノ木遺跡 原の辻遺跡

一九七七年以前出土の木簡(一六)

平城京跡左京一条三坊十五・十六坪

沖繩の呪符木簡

いまに息づく呪符・形代の習俗

文書木簡はいつ廃棄されるか

史料紹介 近世の畳の頭板について

史料紹介 近世の荷札木簡の一例

彙報

領価 五五〇〇円 送料六〇〇円

山里純一
奥野義雄
今泉隆雄
今津勝紀
鈴木景二